JA岡山 広報誌

パレット Palette

地域によろこびの種をまく since2000 JA岡山

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JA岡山は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

9
2022 September
vol.265

特集 JA岡山の新役員体制
就任のご挨拶

農を担う
ブドウ・レモン農家　松下 隆純 さん
裳掛地区……10ページ

今月の折り込み　令和４年度 柑橘苗木予約注文申込書
2022年9月号カタログショッピングチラシ　ほか

JA岡山の新役員体制
就任のご挨拶

では第35回岡山県JA大会で掲げた
①持続可能で、強く元気な岡山県農業の実現
②豊かで元気な地域社会の実現
③「食」と「農」を基軸とした地域に根ざした「協同組合」の役割発揮
の3つの柱を基に、不断の自己改革に取り組んでまいります。

今年度より新たな「営農振興計画」と「地域くらし活性化計画」を策定し、関係機関との連携を図りながら、組合員・利用者と地域の皆さまの声をしっかり聴き、国の礎である農業を守り育てていくとともに、様々なリスクに対応できる柔軟な経営組織の構築を目指します。また、コンプライアンス態勢の充実と更なる経営の健全性・信頼性を向上させ、組合員・利用者と地域の皆さまから、「JA岡山があって良かった」と感じていただけるよう、役職員一同、誠心誠意取り組んでまいります。

結びになりますが、皆さまの益々のご健勝とご多幸、豊穣の秋を皆さまとともに喜び合えることをご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

経営管理委員会 会長　宮武　博

この度、第22回通常総代会後の経営管理委員会において、経営管理委員会会長に再任され、就任いたしました。会長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

近年、農業をめぐる状況は、新型コロナウイルスの感染拡大や国際情勢の変化により食料の安定供給に対するリスクが顕在化していることに加え、生産資材においては、燃料・原材料、配合飼料などの高騰が続いており、非常に厳しい状況が続いています。

このように農業、JAを取り巻く環境が大きく変化する中、JA岡山とした価値観の変化、農村地域の人口減少に伴う耕作放棄地の増加や高齢化の進展、後継者・担い手不足による農業従事者の減少、自然災害の甚大化に加え、ロシアによるウクライナ侵攻等により原油価格、肥料等の原料価格が高騰するなど厳しさを増しています。

このような状況の中、「食と農を基軸とした協同組合」として、持続可能な地域農業を実現するため、農を通じた豊かな地域づくりを目指し、最善の努力を傾注し事業運営にあたる所存です。

皆さまのご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、益々のご多幸を心よりお祈り申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

経営管理委員会 副会長　久山　英之

この度、6月28日に開催された第22回通常総代会終了後の経営管理委員会において、経営管理委員会副会長に再任され、就任いたしました。その責任の重さを改めて痛感し、会長を補佐し、JA岡山の発展のため誠実に職務にあたる所存です。

近年、農業を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの感染拡大を原因

代表理事理事長　岡　信明
【業務統括・監査】

この度、第22回通常総代会終了後の経営管理委員会において代表理事理事長に再任いただき就任いたしました。微力ではございますが、誠心誠意努めてまいる所存でございます。

さて、農業を取り巻く環境は依然として大変厳しい状況にありますが、人間の生命の維持に欠くことができない食料の安定的な供給と環境保全の重要性が再認識され、農業への関心と期待が日に日に高まっています。

このような中、JA岡山では、「持続可能な農業・地域共生のみらいづくり」の実現に向け、「農家組合員の所得増大と農業生産の確立・県民による地産地消」に努めるとともに、「不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化」、さらには「SDGsの実現に向けた取り組み」を推し進め、組合員、利用者の皆さまから信頼され、そして必要とされるよう、役職員一丸となって取り組んでまいります。

今後とも、組合員、利用者の皆さまのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

代表理事専務　難波　信也
【リスク管理・人事】

平素より、JA岡山に対しまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

さて、この度の第22回通常総代会終了後に行われた経営管理委員会および理事会におきまして、再び代表理事専務の職を担うこととなりました。農業やJAを取り巻く環境が年々厳しさを増す中、その責任の重さに改めて身の引き締まる思いでございます。

ここ数年のコロナ禍による経済停滞やロシア・ウクライナ情勢などの影響により、農業経営においては、資源・資材価格の高騰など大きな問題に直面しています。また、JA経営においても様々な不確実性が伴い、今後も事業環境は絶えず変化していくことが予想されます。

こうした中、JA岡山においては、組合員・利用者の皆さまのご信頼、ご期待にお応えすることができるよう経営努力を重ね、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に役職員一同、力をあわせて取り組んでまいります。

今後とも、一層のご支援をお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

常務理事　太田　誠一
【企画総務】

この度の第22回通常総代会終了後の経営管理委員会および理事会におきまして、企画総務担当常務理事に再任され就任いたしました。改めて責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。

農業を取り巻く環境は、米価の下落、肥料や燃料の高騰と非常に厳しい状況にあります。

地域になくてはならないJAであり続けるため、ご承認いただいた中期計画に沿って、JAの総合力を発揮した事業伸長や効率的な店舗・施設運営を通じた費用削減等により健全で持続性のある経営基盤の確立・強化に役職員一丸となって取り組んでまいる所存でございますので、皆さま方のご協力とご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

常務理事　小西　孝志
【信用共済】

この度の第22回通常総代会終了後の経営管理委員会および理事会におきまして、信用共済担当常務理事に再任され就任いたしました。改めて責任の重大さに身が引き締まる思いでございます。

JAを取り巻く環境は急激に変化しております。「地域によろこびの種をまく」を経営理念として、組合員・利用者の皆さまや地域から信頼され、必要な存在として認められる

組合を目指し職務に邁進する所存でございます。

本年策定いたしました中期計画に則り、信用事業においては農業・地域の成長支援のために、共済事業においては組合員・利用者の皆さまの生命財産を守り豊かな生活づくりのお役に立てるよう、役職員一丸となって取り組んでまいります。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

常務理事　山本　到
【営農経済】

この度の第22回通常総代会終了後の経営管理委員会および理事会におきまして、営農経済担当常務理事に再任され、就任いたしました。その役割と責任の重大さを改めて痛感しております。

さて、農業・JAを取り巻く情勢は農業者の高齢化、担い手・後継者不足による生産基盤の縮小などの様々な問題を抱えています。また、長期化するコロナ禍で需要減少した農産物の価格低迷、さらに、ウクライナ情勢等による肥料・飼料・燃油の価格高騰等非常に厳しい状況となっています。

こうした中で、今年度新たに策定しました3カ年の「営農振興計画」と「地域くらし活性化計画」を基軸として、農産物の有利販売、品質・収量向上、低コスト生産等について着実に実践してまいります。また、行政、関係機関・組織との連携強化を図りながら「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けて役職員が一体となり取り組んでまいります。

今後とも、地域農業の振興と地域貢献に向けた役割を発揮できるよう、微力ながら精一杯取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

代表監事　藤田　眞樹

去る6月28日に開催されました通常総代会並びに監事会におきまして代表監事に再任され就任いたしました。改めて責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。

農業・農協を取り巻く環境はますます厳しくなり、さらに監事の役割も一層増しております。このような中、監事として果たすべき義務と責任を再認識し、法令順守を基本として、公平かつ公正な立場を堅持し、微力ではありますが、誠心誠意頑張っていく所存であります。

どうか、皆さま方のご協力とご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げ就任のご挨拶とさせていただきます。

常勤監事　片岡　一明

第22回通常総代会終了後の監事会におきまして、引き続き常勤監事に再任され就任いたしました。改めてのその重責を痛感しております。

私は、令和元年6月に常勤監事に就任致しましたが、改正農協法施行に伴い、就任と同時に会計監査人監査が導入されました。また、監事監査規程等の変更もあり、監事の仕事も表面上は変化がないように見えますが、中身は大きく変わってきたと感じています。対外的な信頼性を向上させるためには、内部統制システムの確立などが必要となり、JAの監事に求められるものも株式会社などのルールに従って監査をすることへと変わってきており、監査人として監査技術の向上が強く求められています。そのような中、微力ではございますが、自己研鑽に努め、常に公正普遍の態度を保持し、コンプライアンス態勢の検証と事業運営の健全性を確保するための監査を行ってまいります。

今後とも組合員・利用者の皆さまに、信頼され、無くてはならないJAを目指し、誠心誠意職務を遂行していく所存でありますので、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

JA岡山の新経営管理委員・新監事の紹介

6月28日に就任した経営管理委員31人・監事9人を紹介します。

経営管理委員

経営管理委員会　会長
宮武　博
岡山市南区中畦

経営管理委員会　副会長
久山　英之
瀬戸内市長船町土師

藤澤　輝久
岡山市北区平田

河内　恵子
岡山市北区今保

北村　孔孝
岡山市北区学南町

疋田　信之
岡山市北区中原

山本　繁幸
岡山市南区小串

片岡　靖登
岡山市北区岡町

小山　健生
岡山市北区芳賀

光森　正豪
岡山市北区富原

三宅　雅之
岡山市北区大井

栗原　哲明
岡山市北区吉備津

佐藤　豪温
岡山市北区中撫川

田口　裕士
岡山市南区藤田

岡本　英俊
玉野市槌ケ原

三宅　良和
岡山市南区西高崎

植月　喜人
岡山市南区北七区

藤原　勲
岡山市東区松新町

岡本　正志
岡山市東区西平島

奥山　孝明
岡山市東区西大寺新

齋藤　準治
岡山市東区西幸西

岡　雅典
岡山市東区政津

佐藤　俊和
瀬戸内市邑久町北島

金居　正彦
瀬戸内市邑久町福谷

神宝　正行
瀬戸内市牛窓町長浜

岡村　榮人
岡山市北区御津宇垣

石井　謙吾
岡山市北区建部町市場

笹井　光治
加賀郡吉備中央町和田

秋山　幸江
岡山市北区玉柏

監事

佐藤　守
岡山市中区倉田

林　淳子
岡山市北区津高

代表監事
藤田　眞樹
岡山市中区湯迫

常勤監事
片岡　一明
岡山市東区豊田

五賀　栄一
岡山市南区泉田

人見　壱郎
岡山市北区日応寺

久山　優
岡山市南区妹尾崎

籠井　哲夫
玉野市梶岡

入江　章雅
瀬戸内市長船町牛文

千田　康弘
岡山市北区建部町桜

三垣　順一
岡山市北区新庄上

農を担う vol.265

最初から最後まで丁寧に管理し、品質の高いブドウを作りたい

松下 隆純さん

裳掛地区：ブドウ・レモン農家

「まつした　たかずみ」
昭和48年生まれ。㊟ぶどう部会（裳掛支部）、㊟せとうちレモン部会所属。ブドウ、レモンを経営。
趣味は映画観賞、スキー、トライアスロン。座右の銘は「継続は力なり」。

7月22日、裳掛地区の松下隆純さんにお話を伺いました。

最初から最後まで作り上げる農業に興味

―就農したきっかけは

就農前は大阪で勤めに出ていました。前職では、製作の一部分を担当していましたが、最初から最後まで自分一人で携われる農業に興味を持っていました。

瀬戸内市が開催した移住セミナーに参加し、食べていくために必要な要素がしっかりしていたことと、私自身がブドウが好きだったということもあり、7年前に移住を決意し、就農しました。

農業について思いを話す松下さん

―農業を始めてからは

就農前には大阪から月に一回親方のほ場に通い、ブドウ栽培の全体の流れを学びました。その後就農して最初の1年半は、岡山県の就農研修を通してハウスブドウの基礎を学びました。就農当初にハウスやブドウの樹が植えてあり、基盤ができていたことは、大変助かりました。

現在は、ピオーネ20アール、シャインマスカット10アール、レモン10アールを栽培しています。

―楽しいことは

手をかければかけるほど変化していき、よいものができたときはやりがいを感じます。場所が違うと日当たりや土質などのほ場環境も違うため、その場所に合った水のやり方や肥料のタイミングを調整しています。

―苦労することは

間引きの時期が大変です。一気に作業量が増え、大きくなった状態を想像し、間引いていくのが難しいです。親方に教わりながら知識と経験を身に付け、よりよいものを作っていきたいです。

より品質の高いブドウを目指して

―今後の抱負は

秀品率を上げて、より品質の高いものを作っていきたいです。そのために、間引きの技術向上や、手を入れるタイミングを見極めて、親方に負けないブドウを作っていきたいです。

また、今植えている樹が来年で4年目となり、収量が現在の2倍近く増える予定なので、より一層忙しくなりますが、頑張って消費者の方においしいブドウを届けていきたいです。

聞き手：JA岡山広報担当

必要のない枝をせん定し、生育の妨げにならないようにします

生育の変化を見逃さないようにしています

楽しい家庭園芸

2022.9

お問い合わせ先
営農部指導課
Tel.086(225)3224

野菜

ホウレンソウは高温に弱い作物です

営農部指導課
祇園 将人

◎ホウレンソウの栽培

ホウレンソウの露地栽培では春播きと秋播きの作型があります。ここでは秋播きの紹介をします（資料1）。

ホウレンソウは冷涼な気候を好み、高温には弱い作物です。発芽適温・生育適温ともに15～20℃なので、播種は暑さがひと段落し、ほ場に水分があるときに行います。

●畑の準備

ホウレンソウは酸性土壌に弱く、最適pHは6・3～7・0です。酸性土壌のまま播種すると発芽率が悪く、発芽しても葉が小さく、本葉2～3枚で生育が止まったり枯死します。栽培前には必ず石灰資材を使用しましょう。

ホウレンソウは直根性なので耕土が深く、有機物に富んだほ場を好みます。播種の約2週間前までに10平方㍍あたり堆肥約20㌔、苦土石灰を約1・5㌔、JA岡山専用有機肥料（10－7－7）等を約2㌔施用し、耕します。耐湿性は弱いので、排水の悪いほ場では20㌢程度の高畝にしましょう。条間約20㌢とし、条数に合わせて畝幅をとります。

●播種

深さ1㌢程度の播き溝を作り、すじ播きし、軽く覆土をして鎮圧します。その時に溝や覆土が平らだと発芽・生育が揃うので凸凹にならないように注意しましょう（資料2）。また、発芽には水分が必要です。十分灌水し、初期生育を揃えましょう。

播種を何度かに分けて行うと、長期間収穫が楽しめます。

●間引き

間引きは2回に分けて行います。1回目は子葉が開き、本葉が出始めたころに行います。混み合った所、発芽遅れ、徒長した株を間引きます。2回目は本葉が4枚開いたころに株間が5～7㌢になるようにします。株間が狭いと1株の葉数が少なくなり、葉柄も徒長し、密植になり病気が発生しやすくなります。株間が広いと葉数が多く、1株のボリュームが増します。ただし草姿が開きやすく、収穫作業がしにくくなります。そのためにも発芽を揃えることが大切です。

●防寒対策

厳寒期には不織布や寒冷紗をべた掛けし、寒さによる品質低下を防ぎます。

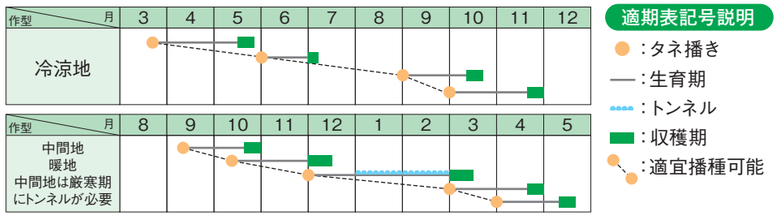
●病害虫

ホウレンソウで発生しやすい病気はべと病です。多湿になると発生しやすいので注意しましょう。害虫ではアブラムシ等の発生に注意しながら早めの対応を心がけましょう（資料3）。

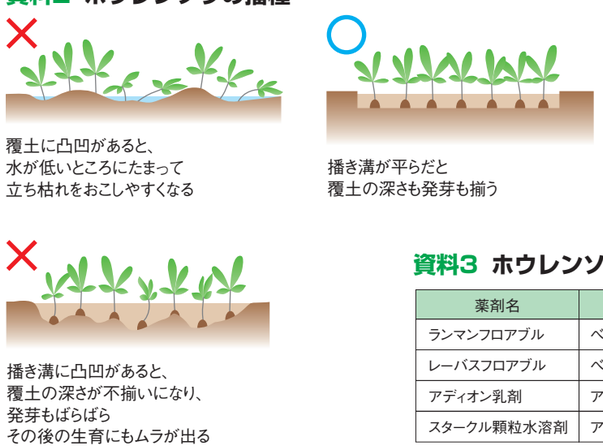
●収穫

草丈20～25㌢が収穫目安になります。収穫遅れにならないよう注意しましょう。

資料1 ホウレンソウの作型



資料2 ホウレンソウの播種



資料3 ホウレンソウの防除薬剤（例）

薬剤名	適用病害虫	希釈倍数	使用時期	使用回数
ランマンフロアブル	べと病	2000倍	収穫3日前まで	3回
レーバスフロアブル	べと病	2000倍	収穫3日前まで	2回
アディオン乳剤	アブラムシ類、ハクサイダニ	3000倍	収穫14日前まで	2回
スタークル顆粒水溶剤	アブラムシ類	3000倍	収穫3日前まで	2回

花き

エリンジュームについてご紹介します

営農部指導課
中川 雄一

エリンジュームについて

様々な花の種播きの時期、ずっと以前からある花ですが、形の面白い花を夏に咲かせるエリンジューム、よく普及しているプラナム種はその花姿からマツカサアザミ（松笠薊）と呼ばれます（資料4）。

アザミに似た見た目とは違ってセリ科の多年草です。

花言葉は「無言の愛」「光を求める」「厳格」など。2つ目は見た目の特性を表しているようです。

●生育特性など

中央アジアからヨーロッパ、アメリカの原産で、原種の違いにより生育特性にも幅がありますが、一般に暑さに弱く、寒さに強い植物とされます。

日照を好み、特に過湿を嫌い、土壌水分は乾燥気味の方が好適です。

草丈は10㌢くらいから2㍍程のものまであり、よく栽培されているのは70～100㌢くらいです。株張りもよく、通気不良が苦手なので、混み合わない間隔での栽培が大切です。少数の栽培なら、時期に合わせて好適な場所に移動できるプランターや鉢植えが便利でしょう。

土壌は弱酸性を好みます。

●種類（品種）

①高温多湿に弱く、冷涼な気候を好むタイプ。ギガンチウム、アルピナなど。

②乾燥気味の環境を好み、比較的暖かい地域原産の種類、比較的暖かいところで栽培できますが、蒸れには気をつけましょう。プラナムなど。

③やや温暖地むきで高温多湿にも耐える種類。アガビフォリウムなど。

そして、これら原種を元に育成された交配品種があります。

●栽培管理

種播き・育苗

時期は春と秋が好適ですが、高温多湿の時期を経ないで開花する9～10月の秋播きがおすすめです。発芽適温は15～20℃、高温下では発芽しにくいので、あまり早播きしないようにしましょう。まだ、気温が高い場合は、風通しのよいところで遮光してできるだけ涼しくする工夫をしましょう。

苗箱に播くか、ポリポットに直接播きますが、直根性なので、移植で傷めないように注意が必要です。覆土は種が隠れる程度にし、充分灌水して、発芽までは乾燥しないように注意します。

箱播きの場合は、本葉3～4枚（植え遅れて根を傷めないこと）のころポットに植え替えます（資料5）。

●植え付け

プランターや鉢の場合は、赤玉土と腐葉土を2：1に混ぜ、それに1割程度パーライトなど通気性がよくなる資材を混ぜ、地床では腐葉土やバーク堆肥をよく混ぜて、排水のよい条件を作ります。梅雨の雨でも排水がよくできるように。

基肥は10平方㍍に緩効性有機化成300～400㌘、苦土セルカ1㌔程度混和します。

比較的暖かいところでは、ポットに根が回ってきたら植え付けます。

低温になるところでは、ポットのまま日当たりのよい霜のかからないところで管理し、春まで待って植え付けます。通気をよくするため株間は30㌢程度にし、植え付け後は充分灌水します。

理想は秋から春まで日当たりがよく、夏は半日陰の場所ですが、プラナムは比較的夏にも耐えるといわれますから、無理なら日当たりのよいところを選びましょう。

追肥は4～5月と10月ごろ緩効性有機化成肥料などを畝面に施用し、高温多湿の夏は控えます。

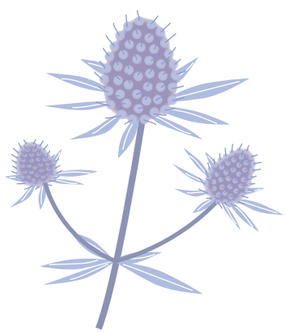
●水管理など

比較的乾燥気味の環境を好みますから、土が乾いてきてから水やりするくらいにします。特に夏の高温の時期に土壌水分が過剰になるのは避けましょう。そして、畝上に敷きわらなどをして土壌温度が上がらないようにします。高温には耐えても蒸れで枯れることがあります。

●根伏せ

エリンジュームは挿し木繁殖できませんが、プラナムなどは根伏せで増殖することができます。春や秋の涼しい時期に植え替えをする場合に、元気な根を切って、平鉢などに新しい用土を入れ寝かせて植え付けます（資料6）。

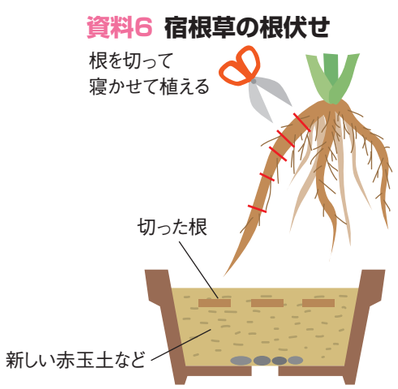
資料4 よく普及している「プラナム」



資料5 ポット育成苗

条件がいいと、こぼれ種から生えることもあります

資料6 宿根草の根伏せ



果樹

夏バテに注意して作業してください！

営農部指導課
武田 祐一

今年の夏期は全国的に過去にないほど気温が高い年でした。梅雨も空梅雨といった珍しい年となりました。まだまだ暑い日が続くと思いますので、夏バテしないよう体調管理には十分注意しながら作業を行ってください（資料7）。

今月は桃の収穫も終わり、ブドウや梨等の収穫時期が本格化します。一方で、台風による強風や秋雨前線により果実品質の低下、落果や落葉が起こり、今年の果実だけでなく、来年の初期生育にも影響することが懸念されます。

収穫が終わった後は、園地から足が遠のいて管理がおろそかになりがちですが、来年の安定結実のためにも栄養と水分の補給を行い、貯蔵養分を蓄えることが大切です。

●礼肥の施用

今年は、高温乾燥と水分不足に加え、結実が良好だったので、樹体にかなりの負担がかかっていると思います。「お疲れ様でした」と感謝の気持ちを込めて、礼肥を施用しましょう。JAの果樹施肥例を参考に施肥した後、十分灌水して肥料の分解吸収を促進させることが重要です。晴天が続く場合は、5日おきに灌水を行いましょう。礼肥の施用方法につきましては、先月号に記述しましたので、今回は省略します。

●収穫について

秋とはいえ、まだまだ残暑が厳しい時期です。日中の気温が高い時間帯に収穫すると果実温度も高くなり、収穫後の日持ちが悪くなります。そのため、収穫は果実温度が低い早朝に行うようにしましょう。

・イチジクの管理（収穫作業）

桝井ドーフィンは8月中旬ごろから、蓬莱種は8月下旬ごろから収穫が始まり、10月下旬ごろまで続きます。収穫の時間帯の気温がその後の果実の鮮度に影響します。朝8時を過ぎると果実内温度が急上昇しますので、気温の低い時間帯に適熟果を判断し、収穫します。

桝井ドーフィンでは、着色により収穫時期を判断します。果皮の着色程度が8月では、70％程度、9月では90％程度を目安とするとよいでしょう。

蓬莱種では、果実が下垂し、頂部裂果が大きくならないうちに収穫します。イチジクの果皮は柔かいので、手で持ち上げるようにして収穫します。樹液が手につくとかぶれるので、薄手のゴム手袋で収穫します。

●台風対策

台風の襲来が予想されるときは防風ネットの設置や点検、明渠の設置や清掃、棚の補強など事前に対策を行っておきましょう。収穫可能な果実があれば事前に収穫しておきましょう。

台風通過時は危険なので園地の見回りなどは避け、安全な場所で通過を待ちます。通過後は、安全を確保し、樹の状況確認や園地の見回りを行い、必要な対策を行いましょう。

・梨の台風対策について

◆事前対策

・ガムテープで落果防止を行いましょう（資料8）。

・風に煽られて棚や枝が揺さぶられると落果しやすいため、棚面をしっかり支柱で固定します。また、棚面の点検、損傷部分を補強します。

・防風施設などの点検、整備を行います。

・幼木は倒伏防止で支柱による補強に努めます。

・過剰雨水を排除するため、園内や周囲に排水路を設けます。整備園では、排水路が機能するかどうかを再度点検しましょう。

◆事後対策

・傷ついた果実は摘果します。ただし、着果量が少なくなる場合は、その後の新梢が徒長しないように枝管理を徹底します。

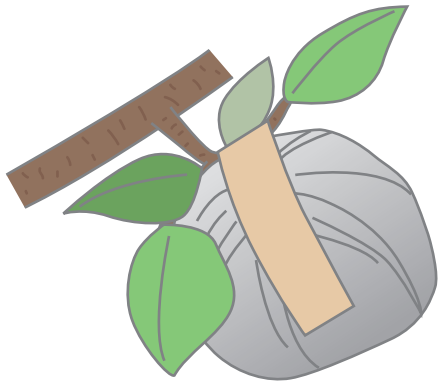
・折損した枝は切り直し、大きな切り口は保護剤（トップジンMペースト）を塗布します。また、裂けた部分は縄等で縛り、癒合促進します。

・台風通過後は病害が発生しやすいので、防除を徹底しましょう。

資料7　今月の主な作業

品　目	作業内容
ブドウ・桃・梨・柿・リンゴ・イチジク	灌水、収穫、礼肥
梅・スモモ・ブルーベリー	灌水
ミカン	灌水、仕上げ摘果
キウイフルーツ	灌水、枝管理
ビワ	灌水、せん定（結果樹）

資料8　ガムテープによる果実の固定



はれもっと 地域によろこびの種をまく
9
vol.265
2022 September
URL https://www.ja-okayama.or.jp/

ノートルダム清心女子大学 栄養学生考案レシピ

鬼もびっくり握りめし

材料と分量（3個分）

米……1合
水…… 140ml
鶏もも肉（皮なし）……85g
トマト……1/2個
コーン缶……30g
チーズ……23g
大葉 ……3枚
バジル……3枚
（粉末の場合1g 程度）

<調味料>
酒…… 大さじ1/2
オリーブ油 …… 小さじ1
ブイヨン …… 小さじ1弱
塩……少々
胡椒 ……少々

❶ 鶏もも肉を一口大に切り、酒をかけて揉み込む。
❷ トマトのヘタを取り、皮に十文字をつける。
❸ コーン缶の水をきる。
❹ 炊飯器に米、水、❶～❸、ブイヨンを入れて炊飯する。
❺ バジルを千切り、チーズをダイス状に切る。
❻ 炊飯が終わったら、トマトの皮を取り除き、大葉以外の具材を加えてトマトを潰すようにして混ぜる。
❼ 握って半分に切った大葉を飾る。

Point! 桃の形で握り、大葉を飾ることで見た目も可愛くしました。ピザのような味で大人から子どもまで好まれる味です。

Agloram あぐろグラム 編集後記

大久保地区の潜水橋

今回のあぐろグラムでは岡山市北区牟佐の大久保地区と牧山地区を結ぶ潜水橋について紹介いたします。

昭和53年に完成した潜水橋は、読んで字のごとく、水かさが増した時には橋そのものが水面下に沈んでしまう橋です。幅1.5㍍、長さ約100㍍の歩行者専用で二輪車は押して渡ることができます。穏やかな山村の風景を楽しむことができますよ。

また、夏には大久保地区で地元農家と町内会が協力してひまわり畑を運営しており、多くの見物客で賑わっています。

編集担当　久山　隆一

発行／岡山市農業協同組合　〒700-8535 岡山市北区大供表町1-1
発行人／太田　誠一　編集／総務部総務課　TEL086(225)9846

各種媒体で情報発信 JA岡山
オンラインショップ はなやか 花野果 オンライン
Instagram OKAYAMA_OFFICIAL
Twitter
YouTube